

28年度厚生労働科研費 精神科アウトリーチ研修会のご案内

精神科アウトリーチ（訪問支援）は、自ら援助希求ができない、或いは伝統的な医療サービスを拒否していた当事者の地域生活の継続と自己実現を支援するうえで重要なアプローチであり、今後益々そのニーズが高まるものと期待されています。

私たちは、精神科アウトリーチ支援に携わる多職種スタッフに対する研修の在り方について検討を重ねてきましたが、座学だけではなくロールプレイを通じて、当事者や家族、時には地域関係者の立場になり、実際にどのような態度で周囲とやりとりをしているか、自らの支援を俯瞰することが支援者自身の成長にも大切であると感じています。

今年度は以上に加えて、SDM（Shared Decision Making：共同意志決定）についての基本的な考え方を学び、ロールプレイを用いて演習を行うセッションを予定しています。精神科アウトリーチの中級者以上を対象とし、少人数（定員 15 名）で密度の高い研修となるよう以下の会を企画しましたので、参加についてご検討頂ければ幸いです。

平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金

障害者政策総合研究事業（精神障害分野）

研究課題名：精神障害者の地域生活支援の在り方と
システム構築に関する研究

分担研究：多職種アウトリーチチームの研修のあり方
についての検討

分担研究者：東北福祉大学総合福祉学部

西尾 雅明

- ◆ 日 時：平成 29 年 1 月 19 日（木） 9：30～17：00（9：00 受付開始）
1 月 20 日（金） 9：30～16：30
- ◆ 場 所：学校法人栴檀学園 東北福祉大学せんだんホスピタル

◆ 住 所：〒989-3201 宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘 6 丁目 6 5-8

◆ TEL：022-303-0125（代表）

◆ HP：<http://www.tfu.ac.jp/hospital/>

◆ 定員：15名

◆ 対象者：

- ① 精神科臨床経験 5 年以上かつアウトリーチ経験 3 年以上の方。
- ② 1 施設より 1 名まで。2 日間を通しての参加となります。
- ③ 原則は申し込み順で、定員になり次第、締め切らせていただきます。

* 研究事業のため、今後のより良い研修のあり方に関して、アンケートや研修に関するご意見を聞かせていただくなどの形でご協力をいただければ幸いです。

◆ 参加費：無料（旅費、宿泊費、食費などはご負担いただきます）。

◆ 参加手続き：メールもしくは FAX にて、下記事務局までご連絡下さい。

◆ 申し込み最終締め切り：12月21日（水）までにお願いいたします。

【お問い合わせ先】

東北福祉大学 総合福祉学部 西尾研究室（担当：後藤）

TEL/FAX 022-301-1120

E-mail nishioken@tfu-mail.tfu.ac.jp

研修日程

1月19日 木曜日

- ★ 9:00～ 受付開始
- ★ 9:30～ オープニング
- ★ 9:50～10:40 研修ニーズのグループワーク
- ★ 10:45～11:15 ウォーミングアップ
- ★ 11:20～12:30 事例検討①（シナリオを用いた場面ロールプレイ）
- ★ 12:30～13:30 昼食
- ★ 13:30～13:45 ウォーミングアップ
- ★ 13:50～15:50 事例検討②（参加者の事例に対するロールプレイ）
- ★ 16:00～17:00 1日目の振り返り
- ★ 17:30～ 懇親会

1月20日 金曜日

- ★ 9:30～ 9:45 ウォーミング・アップ
- ★ 9:45～12:15 事例検討③（参加者の課題に対するオムニバスなドラマ）
- ★ 12:15～13:15 昼食
- ★ 13:15～14:15 SDMの考え方
- ★ 14:25～15:55 SDMのロールプレイ
- ★ 16:00～16:20 クロージング
- ★ 16:20～16:30 アンケート記入

ファシリテーター

石川 淳子（ひだクリニック 臨床心理士）：東京サイコドラマ協会公認ディレクター・日本心理劇学会常任理事。

臨床現場・研修にて、サイコドラマを活用されている先生です。

伊藤 順一郎（メンタルヘルス診療所 しっぽふぁーれ）

近田 真美子（東北福祉大学）

園 環 樹（株式会社シロシベ）

西尾 雅明（東北福祉大学）

新田 雅義（東北福祉大学せんだんホスピタル）

梁田 英磨（東北福祉大学せんだんホスピタル）

（五十音順）

*参加される方の職種構成やご希望などにより、研修日程や内容が若干予定と異なる可能性もありますが、その際はご了承いただければ幸いです。不明な点などありましたら、遠慮なく問い合わせ先までご連絡ください。

一昨年度・昨年度の研修会参加者の声など

- 「ロールプレイで様々な振り返りや発想の拡がりが見えた」
- 「ロールプレイを用いての事例検討がとても楽しかった。普段の事例検討では味わう事のできない様々な立場、気持ちになる事ができた」
- 「ロールプレイは職場でもやってみたいと思った。困難事例の介入時に使えるようロールプレイのエッセンスも知ることができればと感じた」

